

令和7年度 第1回五所八幡宮祭礼記録作成調査委員会 議事概要

日 時 令和7年8月5日(火) 14時00分～16時15分

場 所 中井町役場 3階3A研修室

出席者 小川委員長、加藤副委員長、大野委員、高久委員、山崎委員、浜野委員、大山委員、三上委員、服部委員、加藤教育長、天野課長、槐参与、藤澤班長、加藤主幹

計14人

1. 開 会

- ・ 天野生涯学習課長より、開会宣言を行う。

2. 教育長あいさつ

今年4月に教育長に就任。以前、中村小学校に勤務していたこともあり、五所八幡宮例大祭にはとても関心があり児童とともに見学していた。今後3年間で五所八幡宮祭礼記録作成調査委員会のもと、報告書を取りまとめ、地域の歴史の文化財としての価値が明らかになることを期待しております。今後ともよろしくお願いいたします。

3. 議 題

(1) 五所八幡宮祭礼の注目点について

- ・ 第一は、五所八幡宮の祭礼を中心とする「郷」の祭りについて、調査で得られた資料を整理しながら、報告書の基本像を固める。旧中村郷18ヶ村の総鎮守の祭りと「郷」の性格。近世村落の成立も視野に入れて、祭りの成り立ちや特徴を歴史的視点から見るべきとの意見。
- ・ 第二は、鷲の舞・山車(榊鉦)・囃子(しゃぎり)といった祭礼の具体的な内容を、資料と現地調査の両面から再確認する。鷲の舞は国内でも極めて特色のある要素であり、他の地域と比較しても重要度が高い点が強調された。また、榊鉦を使う巡幸山車は非常に数少なく、榊鉦・山車の形態・装飾(特に彫り物)を正確に記録する必要性が確認された。
- ・ 第三は、棟札などの歴史的資料の扱いを含め、「学術的に注目される点」を明確化し、報告書の記述方針(イメージづくり)を固めること。山車の調査範囲については、山車を持つ地区と持たない地区の扱いの差異を調査することが課題。分担表に基づき、総括・神社祭礼資料のとりまとめを中心に回す計画。

(2) 今後の調査計画の策定について

- ・ 今後のスケジュール案として、年内に基本データを収集・整理し、調査3年目の報告書作成の準備に入る流れが共有された。年内に自治会関係者との情報共有・ヒアリングの機会を設定する。12月に調査委員会を開催予定。
- ・ 調査報告書の草案イメージとしては、約200ページを想定した構成案を共有し、現状記録と過去資料の統合・現地調査の記録(観察記録・聞き書き)を組み合わせた章立てを作成。五所八幡宮の祭礼を核とする「郷」の祭りは、多元的な歴史

資料と現地伝承の双方を統合して理解する必要があるとの認識が再確認された。
鷺の舞・榊鉦・囃子などの祭礼要素の独自性を明確に記録・分析することが報告書の中核になる。

・調査の規模が大きく、複数年にわたるため、年度内の調整と予算の確保をし、
図面調査など専門家の活用を前提とした計画。

5. 閉 会

- ・天野生涯学習課長より、閉会宣言を行う。

以 上